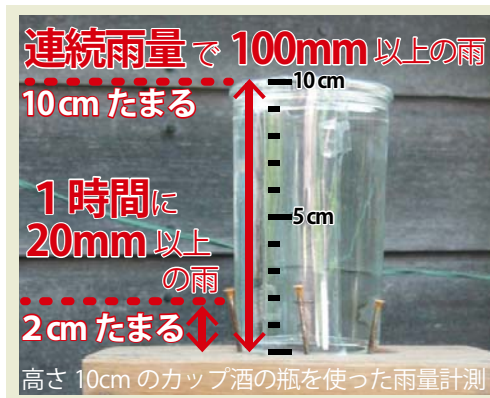


！ 雨と土砂災害の関係を知りましょう

土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。
自宅雨量を計測する習慣をつけましょう。
なお、カップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です。

■誰でも簡単に雨量計測できる簡易雨量計測の方法

カップ酒のビンなどの寸胴の容器にメモリをつけて、雨が降り始めたら、**地面で跳ねた雨が入らない高さで平らな場所に容器を設置**。こまめにたまった水の深さを確認しましょう。



※1時間に20mmの雨のイメージ
車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨

！ 行政からの情報に注意しましょう

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。これらの情報が発表された場合には、すぐに避難を開始してください。

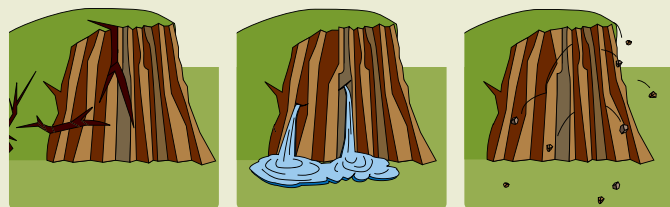
土砂災害警戒情報・・・地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報

避難勧告・避難指示・・・災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、市町村から発令される情報

！ 前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

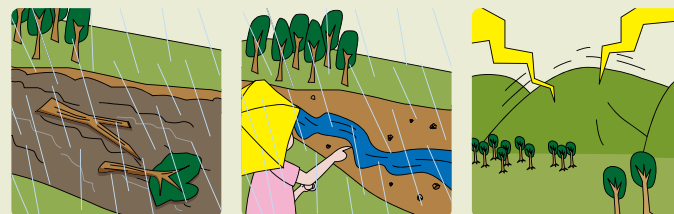
土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの様子に注意して、次のような状況を発見したら、直ちに避難を開始してください。

がけ崩れの発生前には・・・



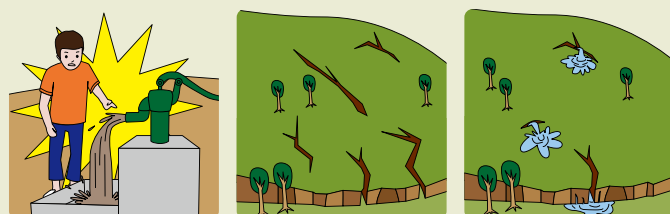
がけに割れ目が見える
がけから水が湧き出ている
がけから小石がぱらぱら落ちてくる

土石流の発生前には・・・



急に川の流れが濁り、流木が混ざっている
雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
山鳴りがする

地すべりの発生前には・・・



沢や井戸の水が濁る
地面にひび割れができる
斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる など

！ 災害情報サービスをご活用ください

防災釜石広報 ☎ 0800-8003199（通話料無料） ※岩手県内の固定電話・携帯電話・PHSから利用可能です。

防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

川目町内会 自主避難計画

川目町内会は、住民全員が**雨の量**や**周辺の様子**に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

① 日頃からやっておくこと

- 裏面の防災マップを参考に、**降雨時に確認される予兆現象**や、自宅周辺の**避難場所（比較的安全と思われる場所や建物）**、**避難経路**、**住民間の連絡方法**を確認しておきましょう。
- カップ酒の瓶などを用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。

② 雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う

- 土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。
（※1時間に20mm、連続雨量で100mmの雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。）
- 避難開始の目安となる現象**が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。



③ 自主避難基準に達したら、町内会役員等に報告して、すぐに避難対応！



自主避難基準

以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- **避難開始の目安となる現象**が1つ確認された場合
（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- 地域内のがけや沢で土砂災害の予兆現象（裏面に示す現象）が確認された場合
- 釜石市役所が避難勧告や避難指示を発令した場合

自主避難基準が確認されたときの避難対応

周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。
土砂災害警戒区域の外へ出ることを心がけましょう。

➡ **比較的安全と思われる最寄りの建物・場所**へ避難

なお、すでに道路が冠水しているなど、**移動に危険が伴う場合は、**






➡ **自宅を含めて、がけや沢から少しでも離れた建物の2階以上**へ避難

※この計画は平成27年10～12月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、川目町内会として検討したものです。

川目町内会





現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報

-  避難開始の目安となる現象
-  降雨時に確認される**予兆現象**
-  過去に**発生した災害**
-  **その他の事柄**
-  **比較的安全**と思われる**場所や建物**

土砂災害の危険性

(岩手県砂防基礎調査結果および土砂災害対策検討図に基づく)

-  土砂災害の危険性が**特に高い**と考えられる区域(急傾斜地の崩壊・土石流)
-  土砂災害の危険性が**高い**と考えられる区域(急傾斜地の崩壊)
-  土砂災害の危険性が**高い**と考えられる区域(土石流)
-  但し破線の範囲は現地未調査

洪水ハザードマップ

(鵜住居川浸水想定区域図に基づく)

